



### 曾根浄化センター - 昭和54年完成 -

(所在地) 〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田二丁目10-1  
Tel. (093) 473-5822  
(面積) 94,374㎡

#### ● あらまし

曾根浄化センターは、分流式として、昭和54年10月に運転を開始しました。現在の処理能力は73,000㎥/日で、小倉南区と門司区・小倉北区の一部の下水を活性汚泥法により処理し竹馬川に放流しています。

#### ● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場	汚水ポンプ	φ400×20.0m <sup>3</sup> /分×20m×M-110kW	1台
		φ500×35.0m <sup>3</sup> /分×20m×M-185kW	1台
		φ400×20.0m <sup>3</sup> /分×20m×M-110kW	1台
		φ500×35.0m <sup>3</sup> /分×20m×M-185kW	1台
		φ800×75.0m <sup>3</sup> /分×24m×E-441kW	1台
		φ800×75.0m <sup>3</sup> /分×24m×E-440kW	1台
水処理施設	最初沈殿池	3,666m <sup>3</sup> (W23.5×L52.0×H3.0)	2池
	反応タンク	5,940m <sup>3</sup> (W 5.5×L72.0×H5.0×3水路)	3池
		1,980m <sup>3</sup> (W 5.5×L72.0×H5.0×1水路)	1池
	主ブロワ	7,500m <sup>3</sup> /時×170kW	3台
		11,400m <sup>3</sup> /時×250kW	1台
	最終沈殿池	3,000m <sup>3</sup> (W17.5×L57.0×H3.0)	3池
汚泥処理施設	消毒槽	1,000m <sup>3</sup> (W 5.8×L57.0×H3.0)	1池
		2,600m <sup>3</sup>	1池
	濃縮槽	(重力式) 960m <sup>3</sup>	1基
		(重力式) 320m <sup>3</sup>	1基
	脱水機	(スクリーンプレス式) φ700×418kgDS/時	2台
混合汚泥貯留槽	W5.9×L9.4×H5.3 293m <sup>3</sup>	1基	

#### ● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池(立方メートル)
		汚水	雨水		
吉志	分流	23.8		昭和59年3月	
今津	分流	6.8		平成8年7月	
曾根新田北	分流	31.8		昭和57年12月	
空港北町	分流	2.2		平成17年10月	
竹馬川第2	分流		1,120	昭和61年5月	
竹馬川第3	分流		126	昭和63年8月	
竹馬川第4	分流		498.6	平成元年4月	
竹馬川第5	分流		1,160	平成7年7月	
新手川	分流		75.6	平成6年10月	



### 北湊浄化センター - 昭和47年完成 -

(所在地) 〒808-0022 北九州市若松区大字安瀬64-15  
Tel. (093) 751-1003  
(面積) 43,891㎡

#### ● あらまし

北湊浄化センターは、合流式(一部分流)として、昭和47年4月に運転を開始しました。現在の処理能力は44,000㎥/日で、若松区と八幡西区の一部の下水を活性汚泥法により処理し新栄盛川第一支流に放流しています。

#### ● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場	汚水ポンプ	φ450×27.5m <sup>3</sup> /分×11.5m×M-75kW	2台
		φ700×60m <sup>3</sup> /分×11.5m×E-169kW	1台
		φ700×60m <sup>3</sup> /分×11.5m×M-160kW	1台
	雨水ポンプ	φ800×78m <sup>3</sup> /分×7.4m×E-162kW	2台
		φ1,200×255m <sup>3</sup> /分×5.9m×E-400kW	1台
		φ1,200×255m <sup>3</sup> /分×5.9m×E-396kW	1台
水処理施設	最初沈殿池	(標準槽)1,264m <sup>3</sup> (W14.1×L28.0×H3.2)	2池
		(二階槽)2,466m <sup>3</sup> (W12.6×L(23.5+28.0)×H3.8)	2池

水処理施設	反応タンク	(標準槽)2,511m <sup>3</sup> (W6.2×L30.0×H4.5×3水路) (深槽)3,000m <sup>3</sup> (W10.0×L30.0×H10.0×1水路)	2池 2池
	主ブロワ	3,000m <sup>3</sup> /時×75kW	2台
		4,800m <sup>3</sup> /時×130kW 5,400m <sup>3</sup> /時×150kW	1台 1台
	最終沈殿池	(標準槽)1,719m <sup>3</sup> (W19.0×L27.0×H3.35)	2池
汚泥処理施設	消毒槽	(二階槽)1,882m <sup>3</sup> (W10.0×L(29.7+31.0)×H3.1)	2池
		1,080m <sup>3</sup>	1池
	濃縮槽	(重力式) 960m <sup>3</sup>	1基
		(重力式) 316.5m <sup>3</sup>	1基
	脱水機	(スクリーンプレス式) φ700×320kgDS/時	2台
汚泥混合槽	φ8.5×H2.5 160m <sup>3</sup>	1基	

#### ● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池(立方メートル)
		汚水	雨水		
中川通	合流	15	504.4	昭和42年4月	
藤ノ木	分流	82		昭和49年4月	
奥洞海	分流	11.1		昭和54年4月	
弘川	分流	39.6		平成2年8月	
高須	分流	75.2		昭和54年8月	
響町	分流	3.4		平成19年8月	



### 皇后崎浄化センター - 昭和38年完成 -

(所在地) 〒807-0813 北九州市八幡西区夕原町1-1  
Tel. (093) 631-4635  
(面積) 145,323㎡

#### ● あらまし

皇后崎浄化センターは、合流式(一部分流)として、昭和38年7月に運転を開始しました。現在の処理能力は177,000㎥/日で、八幡西区・八幡東区と若松区・戸畑区の一部の下水を活性汚泥法により処理し割子川及び洞海湾に放流しています。

#### ● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場(第一)	汚水ポンプ	φ200×7.4m <sup>3</sup> /分×10m×M-21kW	3台
		φ350×17m <sup>3</sup> /分×10m×M-48kW	4台
	雨水ポンプ	φ800×72m <sup>3</sup> /分×3.2m×M-80kW	2台
場内ポンプ場(第二)	汚水ポンプ	φ1,200×195m <sup>3</sup> /分×3.2m×E-155kW	3台
	雨水ポンプ	φ500×33m <sup>3</sup> /分×20m×M-160kW	3台
水処理施設(第一)	最初沈殿池	φ800×80m <sup>3</sup> /分×12.6m×E-257kW	1台
		φ800×80m <sup>3</sup> /分×12.6m×E-257kW, M-240kW	1台
	反応タンク	3,180m <sup>3</sup> (φ35×H3.8)	4池
	汚水ポンプ	φ500×35m <sup>3</sup> /分×6.7m×M-60kW	3台
	反応タンク	7,680m <sup>3</sup> (W6×L40×H4×8水路)	2池
	主ブロワ	6,000m <sup>3</sup> /時×170kW	2台
水処理施設(第二)	最終沈殿池	1,750m <sup>3</sup> (W13.2×L38×H3.5)	6池
	消毒槽	883m <sup>3</sup>	1池
	最初沈殿池	2,900m <sup>3</sup> (W14.5×L50×H4)	7池
		5,872m <sup>3</sup> (W7×L56×H5.1×3水路)	5池
	主ブロワ	6,000m <sup>3</sup> /時×180kW	1台
最終沈殿池	12,000m <sup>3</sup> /時×350kW	2台	
汚泥処理施設	濃縮設備	2,657m <sup>3</sup> (W14.5×L53.9×H3.4)	7池
	脱水機	719m <sup>3</sup>	3池
汚泥処理施設	脱水機	(重力式) 666m <sup>3</sup>	2基
		(遠心式) 50m <sup>3</sup> /時	3台

#### ● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池(立方メートル)
		汚水	雨水		
藤田	合流	276	1,410	昭和38年4月	2,800
則松	分流(一部分流)	102	1,509	昭和50年6月	
楠橋	分流	58.4	2,170	昭和58年7月	
折尾	分流(一部分流)	51.9	251	昭和50年6月	
本城	分流	68.8	240.2	昭和50年10月	
東中島	分流(一部分流)	48.3	1,368	昭和51年8月	3,800
金山川	分流		604	平成13年3月	